

株式会社 博進堂

DX宣言書

2024年8月19日
株式会社 博進堂
代表取締役 清水 伸

□ 経営理念(企業理念)

新しい価値を共に創造します
仕事を通じて人間の成長を支援します
未来へつながる美しい作品づくりを追究します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 社員一人一人の事情に寄り添い、社員全員が長く働き続けられる会社を目指します
- ◆ 私たちが提案する「すべての子どもたちにアルバムを」を実現するために、自社開発プラットフォーム「あるばむステーション」を活用し、「あるばむ」作りのさらなる付加価値向上を実現します
- ◆ デジタル×印刷の新サービスを開始し、お客さまへ新たな価値を提供します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年9月)

戦略 「柔軟に働き方を選択できる環境整備」

- 施策
- ・ コミュニケーションツールの利用効果を最大化するため、ツールごとの使用用途などを整理した社内共通ルールを策定
 - ・ 在宅勤務下でも勤怠状況が管理できるよう、タイムカードの廃止など人事・労務管理を見直し
 - ・ セキュリティ対策を見直し、在宅勤務でも実施可能な業務を拡大

➤ フェーズ2(現在 ～ 2026年3月)

戦略 「『あるばむ』作りの付加価値向上」

- 施策
- ・ 品質向上につながる作業により多くの力を注げるよう、「あるばむステーション」を活用した社内作業の効率化を推進
 - ・ 「あるばむステーション」を活用し、子どもたちが「あるばむ」作りの過程に携わることができる「参加型の『あるばむ』作り」を実現
 - ・ 「あるばむステーション」に携わる方々と、進捗状況の共有や、校正のやりとりが可能な環境を、オンライン上で整備
 - ・ 「あるばむステーション」上で、必要な情報を簡単に得られる状態を実現し、「あるばむステーション」利用者の利便性を向上

➤ フェーズ3(2025年4月 ～ 2027年9月)

戦略 「デジタル×印刷の新サービス提供」

- 施策
- ・ 印刷機のデジタル化、およびそれに伴う業務フローの見直し、最適化を実施
 - ・ 生産設備や検査装置、仕事の割り振りにデジタル技術を活用
 - ・ お客さまの利便性向上のために、オンライン決済を導入

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 就業環境、人事・労務管理のデジタル化 : 完了(～2025年9月)
- ・ 「あるばむステーション」利用割合 : 70%以上(～2026年3月)
- ・ デジタル×印刷の新サービス売上比率 : 10%以上(～2027年9月)